NIKKEI For a better world 150th

NIKKEI CLASSIC CONCERT 2027
日経クラシックコンサート 2027

新しい一年、新しい世界へ。

― 名曲で巡る、感動のプログラム ―







大阪フィルハーモニー交響楽団 ©飯島隆

2027年 **1月31日（日）**

15:00開演（14:00開場）

フェスティバルホール

大阪市北区中之島2-3-18

主催：日本経済新聞社　大阪・エリアセールスユニット

後援：大阪市／大阪市教育委員会

PROGRAM

シベリウス／交響詩《フィンランディア》

グリーグ／ピアノ協奏曲 イ短調 作品16

ドヴォルザーク／交響曲 第9番《新世界より》

チケット料金（全席指定・税込）

S席	A席	B席
8,000円	6,500円	5,000円

特別ご優待

1,000円OFF!

※他の割引との併用はできません。

カンフェティでのご購入時にクーポンコードをご入力ください。

クーポンコード

新世界

チケットのお申し込みは

チケットサイト「カンフェティ」から

https://www.confetti-web.com/@/nkcc2701

サイトでのお手続きに関してのお問い合わせはカンフェティまで

050-3092-0051（平日10:00-17:00）

※お申し込み時にカンフェティの会員登録（無料）が必要です。 ※演奏会中止の場合を除き、ご購入後のチケットの払い戻し・変更等はお受けできません。 ※未就学児童のご入場はお断りします。 ※周辺の道路は混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。 ※やむを得ない事情により出演者・曲目などが変更になる場合がございます。

お申し込み締切　2027年1月10日（日）

お問い合わせ　日経クラシックコンサート事務局（日経ピーアール内）　npr-concert@nikkeipr.co.jp

名曲で巡る、感動のプログラム

北欧の澄んだ風景から、心躍るピアノの響き、そして新しい世界への希望へ――
3つの名曲が織りなす、壮大で感動的な音楽の旅へお出かけください

01 シベリウス
交響詩
《フィンランディア》



フィンランドの自然と人々の心の強さを壮麗に描いた名作。冒頭の美しい旋律から、広がる雄大な世界へと導かれます。

02 グリーグ
ピアノ協奏曲
イ短調 作品16



ノルウェーの民族色とロマンティックな情感があふれる名協奏曲。美しい旋律と、情熱あふれるピアノの響きが魅力です。

ピアノ　實川 風

03 ドヴォルザーク
交響曲 第9番 ホ短調 作品95
《新世界より》



新たな大地で生まれた希望の響き。印象的な旋律と力強いリズムが聴く人の心を揺さぶる、ドヴォルザークの最高傑作です。

出演者プロフィール



©K.Miura

指揮

円光寺 雅彦
Masahiko ENKOJI

桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を斎藤秀雄氏、ピアノを井口愛子氏に師事。1980年ウィーン国立音楽大学に留学しオトマール・スウィトナー氏に師事。これまでに東京フィル指揮者、仙台フィル常任指揮者、札幌交響楽団正指揮者、名古屋フィル正指揮者などを務め、数多くの公演を共にしながらオーケストラの飛躍的な発展に貢献してきた。N響、読響、新日本フィル、東響、群響、大阪フィル、広響、九響をはじめとするほとんどの国内オーケストラ、海外ではプラハ響、BBCウェールズ響、ベルゲン・フィル、フランス・ブルターニュ管弦楽団に客演し、深い音楽性と的確な指揮で多くの聴衆を魅了。テレビ等の番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍を続けている。



©Taira Tairadate

ピアノ

實川 風
Kaoru JITSUKAWA

幼少期より国内コンクールで数々の受賞を重ね、14歳でポーランド国立クラクフ管弦楽団と共演。2015年ロン・ティボー国際コンクール第3位（1位なし）、最優秀リサイタル賞・最優秀現代曲賞を受賞し、2016年カラーリョ国際ピアノコンクールでは第1位を獲得、イタリア各地でリサイタルを行う。近年はバッハ作品を演奏活動の中心に据え、チェンバロ演奏にも取り組むほか、2023年にはアルバム『Kaoru Jitsukawa plays BACH』をリリース。作曲家としても活動し、渋谷区委嘱作品を発表するなど幅広く活躍している。国内外主要オーケストラとの共演や国際音楽祭への出演を重ね、メディア出演も多数。東京藝術大学を首席卒業後、同大学院およびグラーツ芸術大学で研鑽を積み、2024年より東京藝術大学器楽科ピアノ専任講師。



©飯島隆

管弦楽

大阪フィルハーモニー交響楽団
Osaka Philharmonic Orchestra

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で創立、1960年改称。創立から2001年までの55年に亘り朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務めた。大植英次、井上道義の後を受け、2018年4月、尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール（大阪・中之島）を中心に全国各地で演奏活動を展開している。2024年4月より、クラリネット奏者のダニエル・オッテンザマーがアーティスト・イン・レジデンスに、2025年4月より、松本宗利音（まつもと しゅうりひと）が指揮者に就任。2026年5月、最新版となる「ベートーヴェン／交響曲第9番」（尾高忠明指揮：2026年2月録音）をオクタヴィア・レコードよりリリース。これによりベートーヴェンの全交響曲のリリースを達成した。2027年創立80周年を迎える。　https://www.osaka-phil.com